

大川原

ライフ

LIFE ②

2019年11月

大川原とは…大川原は福島県大熊町にある地区です。町は、2011年3月の東日本大震災に伴う原発事故により全町避難を余儀なくされましたが、2019年4月にこの大川原地区と中屋敷地区に限り避難指示が解除されました。大川原地区には新しく役場庁舎や公営住宅などができ、住人が日々の暮らしを再開しています。

発行：大熊町ふるさと未来会議



すくすく育ったナス



うちのナスは
食べられるのか??!

こんにちは！大熊町役場の喜浦です。
早速ですが、大川原の我が家の畑では、公営住宅に住む男性が野菜を作っています。しかし、8月、実ったナスが土の上に転がっていました。ナゼ!? と思っていたら、「放射線が出た」という噂。うちでできた野菜が食べられないというのは少しおそろしくシロクです。私はナスを拾い、役場で調べてもらいました。



結果は…

核種	放射能濃度(Bq/kg)		誤差(±Bq/kg)	判定
Cs134+Cs137	< 5.535			OK
計数率(cps)	検出下限値(Bq/kg)	短縮設定値	判定しきい値	
1.428e-002	5.535	-	50.000	

放射性物質は
検出されませんでした!



正確にいうと、検出下限値が約5 Bq/kgなので、それを超える数値は出なかったという

ことです。(国の基準値は100 Bq/kg) 聞けば男性もナスとカブを検査し、安全を確認済み。1人では食べきれずに捨てていたとのこと、

今は私がありがたく収穫しています。野菜に限らず、不安に思ったら放射線量を測ってみています。今のところ「住めない!」と悲観することなく、ここでの普通の生活をひたひた開拓している気分です。

トマトとナスと一緒にバスターになりました。



ハロウリンのわぽれが立派!



避難指示解除前から大川原で農作物を育てている、町民の新妻茂さんにお話を伺いました。

(平成26年秋の)除染完了直後から、自宅の畑で野菜などを作っていますが、国の基準を超えないのはもちろん、数値が出るのもまれです。この8月にできたトウモロコシ、カボチャ、スイカも「検出されず」。今は白菜と大根の収穫が楽しみです。

焼きそば、
ごちそうさまでした！



いろいろな方と会えた中でも
町民の方に「こちで飲め！」と
たくさん誘ってもらえたことが
新米町民はうれしかったです



喜浦

立派なやぐらが立ちました



おがえり! なつ祭り in おおくま

9/7(土)
参加
したよ

最後はみんなでおどろり



おどろり



青空の下で味わう
バーベキューは最高♪
これが毎年恒例の
夏のイベントになると
いいなあ！



佐藤



日取高のステージで大盛り上がり

